

研究構想シート	学校名	海士町立福井小学校
	氏名	長田 麻衣
A 研究主題 自分の思いや考えをもち、伝え合うことのできる児童の育成		
B 研究の目的 国語科の学習において、児童が自分の思いや考えを持ち、主体的・意欲的に伝え合うことのできる児童を育成するために、具体的方策や支援のあり方について、授業実践を通して明らかにする。		
C 子どもの実態 ○学習意欲が高く、課題に対して自分の考えを持つことができる。 ○友だちの考えを受け止めることができる。 ○やり方が分かると安心して取り組むことができる。 △自分の考え持つことはできるが、間違えることを恐れて消極的な発表になる。 △友達の考えに対して、付け足しや疑問を持つことが少ない。	E 手立て・内容（研究仮説） ・教師が適切な支援を行い、個別最適な学びの場を設定すれば、自分の考えを持つことができるであろう。 ・相手意識、目的意識を明確にし、伝え合う活動を設定すれば、協働的な学びが展開され、考えを深めたり広げたりすることができるであろう。	D めざす子どもの姿 ○自分の思いや考えを持ち、主体的・意欲的に伝え合おうとする子。 ○自分の思いや考えを、自信を持って発表できる子。
	F 検証方法 ・事前・事後のアンケートを行い、変容を見る。 ・授業中での児童の見取り。（ワークシート・発言や行動の観察） ・児童の表現活動からの評価。（発言・発表・成果物）	
	G 研究計画 ・児童の実態、めざす子どもの姿、具体的な手立てを全教職員で考える。 ・今年度の研究計画について共通理解を図る。 ・全教員が授業を公開し、研究協議を行う。 ・1学期の授業研究 6年目研 中堅研 ・2学期の授業研究 初任研 6年目研 中堅研 ・3学期の授業研究 ・今年度の研究のまとめ	